

行政視察等報告

(会派 公明党)

<視察目的>

長野県軽井沢町 富山県黒部市 石川県加賀市の2市1町における通年議会導入による成果、議会改特別委員会の取り組み、議会活性化特別委員会の特記すべき事項、広報広聴委員会の業務内容などの先進事例を学ぶため

<視察概要一覧>

視察月日	視察先	視察施設	視察内容
令和4年 8月22日 (月)	長野県軽井沢町	軽井沢町役場	・通年議会導入による成果と課題 ・広報広聴委員会の業務内容について
令和4年 8月23日 (火)	富山県黒部市	黒部市役所	・議会改革特別委員会構成等議会改革について
令和4年 8月24日 (水)	石川県加賀市	加賀市役所	・議会活性化特別委員会の取り組みとその他の議会改革について

<視察概要報告>

1. 長野県軽井沢町役場

●対応者

軽井沢町議会議長 副議長 議会運営委員長 広報広聴委員会常任委員長
議会事務局長

●説明概要

通年議会導入による成果と課題について、広報広聴委員会の業務内容及びスケジュールなどその他議会改革について特記すべき事項について説明を受ける

<考 察>

軽井沢町では広報広聴委員会が常任委員会になっている事、また議会だより作成にあたって「議会だよりモニター」を設置されていることなどその他さまざまな先進的な事例を学ぶことができました。

安来市の広報広聴委員会は、常任委員会でも、特別委員会でもないその他の委員会に属しています。軽井沢町は特別委員会だった広報広聴委員会を常任委員会化するために委員会条例の改正を行い広報広聴常任委員会とし、住民からの意見を広く聞く対話型の

広報活動をめざしておられます。委員会の委員の任命は議長が行っているとのこと。それだけをとっても、軽井沢町の広報広聴に対する意気込みを感じました。また、議会だより作成においては議会モニターを導入されています。そのモニターも年代・男女比・地区の偏りに考慮している事。アンケートへの回答や、委員との懇談会に参加で5,000円の謝礼を払っていることなど、市民の声が大いに繁荣された紙面づくりをされています。また、議会報告会は「議会とまちづくりを語る会」とし、1年間で6カ所開催され各場所ごとにテーマを設定し、ワークショップを取り入れることで町民同士が語り合う機会をつくったり、夜間の開催だけでなく昼間に行うなど工夫をして開催されています。その他にもさまざまな取り組みを学ぶことができ、現在安来市議会広報広聴委員長を仰せつかっている私にとってとても参考になる視察でした。



2、富山県黒部市役所

●対応者

黒部市議会副議長 議員 2名 議会事務局長 議会事務局次長
議会事務局主事 議会事務局主幹

●説明概要

議員定数減に伴う常任委員会の数を減らすことについて、議会改革特別委員会の構成等その他議会改革において特記すべき事項について説明を受ける

<考 察>

議員定数 17 人における常任委員会及び予算・決算特別委員会のあり方について議論する中で、意見は分かれたようですが、最終的に予算決算委員会は全議員で構成し、3つあった常任委員会は2つにされた事、また、議会改革特別委員会の構成を全議員にされたのは、全議員で議論し、全会一致をめざすこととしたためとのことでしたが、なかなか、全会一致にならないことが多いと思うなか



で、黒部市は、議会改革に対する認識の共有が図られ、議会全体として議会改革を推し進めることが出来るとの理由で議会改革特別委員会は全議員で構成されています。

また、広報広聴活動は、市民の皆さまに議会の取り組みを理解していただくために大変重要な役割があると思っていますが、現在の安来市の広報広聴委員会のあり方では正直できていないと感じています。黒部市においては広報広聴委員会の委員長に副議長が付き、あとの委員は議長、常任委員長、議会運営委員長、特別委員長が付かれています。軽井沢町同様、黒部市も広報広聴に対する意気込みを感じます。

安来市においても、広報広聴委員会を常任委員会なり、特別委員会にするとの議論が必

要だと思います。また、委員会構成も今後検討が必要だと思いました。
黒部市の一步進んだ議会改革のようすを学ぶことができ、とても参考になりました

3、石川県加賀市役所

●対応者

議会活性化特別委員会委員長 副委員長 議会事務局長

●説明概要

議会活性化特別委員会の取り組み等その他議会改革について説明を受ける

<考 察>

議会活性化特別委員会の活発な活動状況を学ばせていただきました。
令和3年には議会のホームページを新しく・見やすく刷新され、ユーチューブ番組を新人議員のユニークなアイデアをもとに製作されていました。また、議会だよりも読みやすく、分かりやすくをモットーにモニター員からの改善提案もいただきながらとても斬新なお便りでした。議会報告会もより活発な意見交換の場とするため、「議会おでかけトーク」として開催され、住民参加型のグループトーク方式を導入し、進行役として各グループの進行役は議員が努めますが、その進行役としてのスキル向上のため、外部講師による「ファシリテーション研修」を実施されているとのことにごい取り組みだと思いました。また、加賀市議会 PPDCA サイクル（誰が、いつ、どこで、何を、なぜ・何のために、どうする）を導入されていることについても、計画を立て、実行に向かっ



て手続きを行い実行した後、それを検証し、それに応じて必要な改善をしていく。加賀市の議会改革の本気度を目の当たりにし、安来市でもできる事からまずやってみようという気持ちになりました。とても斬新的な取り組みは大いに参考になるものでした。